



幅広い視野を基に Think & Challenge!

情熱の教育が彩るカラフルな人生



「一方的に手取り足取り生徒の面倒を見ようとは思っていません。異なる個性を持った一人の人間として、真正面からぶつかり合うのが翠陵の教育です」。そんな教師の熱意ある言葉に横浜翠陵という学校が表れている。Think & Challenge!のスローガンを掲げ、考える基礎となる学力の定着と、開校以来培われてきた国際色豊かなプログラムが、主体的に考え、果敢に挑戦する人間力をはぐくんでいる。





今年から職員室のすぐそばに設置されたドリカムコーナー。いつでも先生に質問できる環境を整えた



4年前の共学化を機に設立された硬式野球部。甲子園予選大会では勝利を逃したが、監督の庄先生は「ピッチャーの成瀬が3年間で一番良い投球をしてくれました。今回の敗北を活かし、来年の勝利につなげたいと思います」と語った



池田千春さん



のアニメを海外の人に伝えられる職業に就きたいと思っています」  
 希望すれば交換留学に複数回参加できるのも翠陵の魅力。中学2年次と今年、メキシコの姉妹校へ2週間の交換留学を経験した古谷優樹君(高一)。初めての留学のとき、学校やホストファミリーに連れて行ってもらったパーベキュー大会で、たくさんの人と触れ合うことができました。メキシコ人の「自分が楽しみたい! だから相手にも楽しんでほしい!」という独特のおもてなし精神や人の良さに魅了され、今回の留学にも参加しました。中2の時はメキシコ料理も美味しく感じないくらい緊張していましたが(笑)、今年は少し余裕をもってメキシコ文化を観察できたと思います。細かいことを気にしなかったり、イェス・ノーがはっきりしているメキシコ人の気質が生活習慣につながっていることに気づけました」と語る。現在は国公立大学を目指す特進コースに在籍。将来は医者を目指している。「健康じゃないとやりたい仕事もできないじゃないですか。だからそんな人間の根本を支えられる人材になりたいんです。英語やスペイン語を使えば外国人も診療できますし、たくさんの人を支えていきたいと考えています」

**相手のやさしさを引き出す人間的魅力**

池田さん、古谷君、そしてその他の海外教育研修体験者から必ず出てくる言葉が「現地の人がとてもやさしかった」だ。人に恵まれるのは偶然ではなく、本人の培ったものによるところが大きい。先生と正面からぶつかり合うことで育つ信頼できる大人との人間関係。縁に恵まれた広い校内で伸び伸びと過ごす時間。頻繁に訪れる留学生との交流で知らずの内に身につく外国人との接し方。さらに経験を基に新しい自分へと努力を重ねステップアップしていく一生懸命な姿勢。6年間で身に付いた人間力は、日本・世界を問わず自然体で渡っていける礎となるのだ。



古谷優樹君



メキシコ姉妹校日本メキシコ学院で現地の生徒と一緒に



NZ研修旅行でホストマザーと一緒に。一人一家庭にステイし、現地校に通う2週間のプログラム



**知らなかった自分に出会える海外教育研修**

体験し、考え、そして新たな可能性に挑戦する。それが翠陵の教育に通った一本筋だ。中でも海外教育研修の機会が生徒に与える影響はとてつもなく大きい。現在高一の池田千春さんも、中3全員対象のNZ研修で新しい道を見つけた一人だ。本当に行きたくなくて、出発前の成田空港でも泣いてたほどです。初めての海外。しかも2週間も一人きりでホストファミリーの家で過ごすなんて…。英語も話せなかったし、日本でもそんなに長い期間家族と離れたことがなかったのに不安で仕方ありませんでした」

ところがそんな彼女はNZでの登校初日に驚くべき行動力を発揮した。「下校の時、ステイ先が近かった翠陵の友達と一緒に道に迷ってしまったんです。近くにお花屋さんを見つけて思い切って道を聞きに行きました。すごく親切な人で、わざわざインターネットで調べて教えてくれたんですよ」。ところが、しばらく歩くとまた道がわからなくなった。近くを通りかかったジョギング中の女性に尋ねたがまた迷う。いよいよ周りに人影がなくなった。「最後はドアの開いた家めがけて、『Excuse me!』と叫びました(笑)。でもその家の人もとても親切で、やっとステイ先にたどり着きました。はじめは英語で声をかけるのに躊躇していましたが、これはもう、聞くしかない! 英語がうまく話せなくても、お家に着けないよりはマシだ! と夢中でした」と屈託なく笑う。素晴らしいホストマザーやパディにも恵まれ、帰国した成田ではNZに戻りたくて涙が止まらなかったという。そんな経験から高校では、それまで考慮に入れていなかった国際コースへ進学。今は中国語が楽しいそうだ。もともとアニメが大好きでしたが、NZのパディと日本のアニメで盛り上がったこともあり、将来は英語やその他の言語を活かして、日本